

市民の声

高島市の財政を考える

今津町 Y.Mさん

高島市の歳入歳出決算状況を見ると、市債（構成比 10.6%）公債費（同 13.3%）が特に目につきます。市民 1人当たり市債負担額は、658,141円となっています。市では今後も多額の地方債を発行せざるを得ないと考えておられるようですが、夕張市などのように財政破綻をきたしては、高齢化が進む市の人口構成を考えると先行き不安になります。市議会は十分なチェック機能を果たし市の組織・機構・財政状況を監視してください。

高島総合病院について思うこと

勝野 S.Yさん

高島市民にとって、安心して暮らせることは何より大切な願いです。病気になる時、介護を必要とする時、子どもの急病、お産や突発的な事故等、今日までその役割を担ってきた高島病院を市政の重点に、医療・福祉の充実こそ地方自治の役割ではないでしょうか。

高島市の立地条件を如何に活用するかは市民に依拠する以外にないと考えますし、高島市民の知恵や工夫、市職員を信頼して、一体となってこそ問題の解決の道ありと思います。

議会広報特別委員会



私たち 8人が 2年間担当しました。

次号からは、メンバーが代わり、また違った視点からの広報が発行されることとなります。

今後とも「議会だより」をよろしくお願いします。

(委員一同)

編集後記

議会広報が市民の皆様方に十分な情報伝達の役割を果たしてきたかは疑問の残るところではありますが、出来るだけ多くの事柄を掲載したいと思えば思うほど複雑で読みにくい誌面になってしまいました。

議会議員にとって最大の執行権限とは一般質問であり、自分の政治信条が強く現れる場面です。行政手法に関心度が増すにつれ質問内容が複雑になり且つ質問者が増えていきます。現在の編集メンバーは任期二年で終了し新年度から新しいメンバーで構成されると思います。一方議会は会派制を採用していますので、各会派が発行している広報で会派の政治理念を発信しています。皆様には双方お読みいただきたくお願い申し上げます。(石田)